

中学校技術・家庭科
第13回千葉県中学生創造ものづくり教育フェア
「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール開催要項

1. 目的 この大会は中学校技術・家庭科教育の一環として中学校生徒に広くものづくり教育の実践・発表の機会を与え、技能の向上と生徒の相互の親睦をはかるものとする。

2 主催団体等

主催：関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究会
千葉県教育研究会 千葉県教育研究会技術・家庭科研究会
共催：千葉県教育委員会 千葉市教育委員会
千葉県木材振興協会 千葉県技術・家庭教育振興会
後援：千葉県 千葉県中学校校長会 公益財団法人千葉県学校給食会
協賛：蛇の目ミシン工業株式会社 山崎教育システム株式会社
東京ガス株式会社千葉支社 キッコーマン株式会社

3. 会期 平成28年11月12日（土）

4. 会場 千葉県総合教育センター JR 海浜幕張駅より 12分
〒261-0014 千葉市美浜区若葉2-13

5. 日程

11月12日 競技会場	
時	程
8:30	受付開始
9:20~	開会式
10:00~12:00	競技開始 午前の部 (2時間)
12:00~12:35	昼食・休憩
12:40~13:40	競技開始 午後の部 (1時間)
14:30~	閉会式
15:00~	片付け
15:30	生徒解散

※準備時間の進み具合により、競技時刻が若干変更することがあります。ご了承ください。

6. 参加費 一人 1500円

※各支部理事または事務局長に第3回役員会（9/29）までに支払うこと。

7. 審査項目

技能 (事前)	布の整え方・配置	布目が整い、布地にムダが出ないような配置をしているか。 (布目方向が異なることがあるが、布の使い方を工夫し、裁断後の残り布の量をできるだけ少なくしているか。)
	裁ち目	裁ち目がきれいにそろって裁断されているか。
	しるしつけ	布地にあった方法で、正確に印がついているか。 角や合印の付け方がわかっているか。

技能	縫い代の量	縫い代の量が適量であるか。 (縫い代の始末による多少の違いはあっても、多すぎたり少なすぎたりしていないか。)
	しつけ及びまち針	本縫いに役立つしつけ又は、まち針が適切にできているか。
	課題の縫製	【ミシン縫い】 袋の使用目的に合わせて、強度が耐えうる縫い目及び縫い代の始末等ができているか。 ポケットが本体にしっかり付けられているか。 【手縫い】 ポケット口を三つ折りにし、まつり縫いをしているか。 スナップを1つ以上付けているか。
	縫う手順	縫う手順に不都合やミスがなく、能率的に正しく縫うことができているか。
	ミシンの操作	ミシンの基本的な操作が身に付いているか。
	アイロンの使い方	製作途中にも、必要に応じてアイロンを適切に使いこなしているか。
	安全な作業	針やはさみを扱い、ミシンの操作、アイロンかけなどの作業を安全に行っているか。 糸くずなどの処理ができているか。
表現	完成	時間内に完成できたか。
	デザイン	デザインが使用目的に合っていて、活用に耐えうるものであるか。 (バッグの口をふさぎ、中身の出ない工夫があるか) 作品にアイデアや工夫が活かされているか。
	レポート	「テーマ」「構想」「(私の)豊かさの視点」「私にとってのものづくり」が具体的に表現されているかがともにはっきりしていて、工夫されているか。 何を入れるための『バッグ』かが明確にされているか。

8. 競技大会で使用するミシン・用具について

作業工程	生徒が持参するもの	会場に準備されているもの
縫製	<ul style="list-style-type: none"> ・ 裁断、しるしつけを終えた布 ・ ピンクッション（針さし） ・ 糸切りばさみ ・ 手縫い糸 ・ しつけ糸 ・ ミシン糸 ・ まち針 ・ 縫い糸 ・ スナップ又はボタン ・ ミシン操作練習の布（はぎれ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アイロン台 ・ アイロン ・ ものさし50cm ・ 霧吹き ・ ロックミシン ・ ロックミシン糸（黒・ベージュ） ・ 延長コード ・ ミシン針（14番）
後始末	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミを入れる袋 	
ミシン	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミシン（各学校より持ち込み可） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジャノメミシン

9. 競技の課題および課題製作上の注意

- ①課題は、『バッグ』とする。
- ②使用する布の合計面積は110cm×50～100cmとする。
（使用する布は、複数種類使ってもよい）
- ③『バッグ』について
 - ・ 裏地は付けず、一重仕立てとする。
 - ・ 立体構成にする。
 - ・ 『バッグ』の口がふさがるようにする。（中身のでない工夫をする）
- ④デザインの工夫は『バッグ』本体とする。
 - ・ 裁断後の残り布の量をできるだけ少なくする工夫を入れる。布目方向は丈夫さなどを考慮する。
（布目方向が異なるパーツもあってよい）
 - ・ 入れるものの使用目的に合わせて、強度が耐えうる縫い目および縫い代の始末をする。
- ⑤ポケットは必ず『バッグ』本体に付ける。
（ポケット口は三つ折りにし、手でまつり縫いをする）
- ⑥スナップは1つ以上つける。
- ⑦裁断としるしつけは事前におこない、競技当日は『本縫いか手縫い』から始めることができるようにする。
- ⑧『バッグ』に付ける装飾品は事前に製作してくることは認められない。
（競技時間内で製作する）
- ⑨競技時間は3時間（昼食時間を除く）とし、時間内に完成させる。
- ⑩材料費は2000円程度とする。

10 参加申込

(1) 申込先 各支部理事 もしくは各支部事務局

(2) 申込方法

所定の用紙に必要事項を記入し、学校長の承認を経て申し込む。

① 参加申込書（応諾書）・・・9月29日まで

※用紙は：千教研 web ページ <http://www.ajgika.ne.jp/~gikachiba/>よりダウンロード

(3) 製作レポート提出について

① 10月28日（金）までに「製作レポート」を下記担当まで郵送する。

（製作レポートは規定の用紙を用いることとし、必ず手書きをして、A4版で提出する）

② 出場決定の連絡は11月2日（水）までに各学校担当者に連絡をする。

③ 参加申込をした生徒は11月12日（土）の二次審査に向けて準備を進めておく。

佐倉市立臼井中学校 教諭 岩井二三代 宛
〒285-0863 佐倉市臼井1530 TEL043-489-5635 fax 043-462-4894

11. その他

- (1) 出場数に制限はないので、千葉県内の中学生であれば、誰でもエントリーすることができる。
- (2) レポートによる一次審査をおこない、出場メンバーを選出し、実技における二次審査をおこなう。
- (3) 上位入賞者3名は賞状と賞品を授与する。
- (4) 県大会で上位2名は、関東甲信越大会への出場権を得る。
- (5) 開催要項に変更がありましたら、随時内容を更新させていただきます。定期的にwebページを確認するようにしてください。

※ 本コンクールに関わる諸連絡、質問等の連絡先

千葉市立轟町中学校 教諭 萬崎保子
〒263-0021 千葉市稲毛区轟町3-5-14 TEL043-251-4305 fax 043-284-4974